

岩沼市教育委員会
点検・評価報告書
(令和5年度実績)

岩沼市教育委員会

目 次

I 点検・評価の概要	1
1 本報告書について	
2 点検・評価実施内容	
II 教育委員会の会議等活動状況	2
1 教育委員会の会議の開催状況	
2 総合教育会議の開催状況	
3 教育機関訪問	
III 事務事業の実施状況・点検・評価	4
岩沼市教育基本方針	4
「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」に関する事業	5
「学びと潤いにみちた地域社会の実現」に関する事業	13
「かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興」に関する事業	16
IV 学識経験者の意見	20

I 点検・評価の概要

1 本報告書について

本報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、岩沼市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施し、その結果をまとめたものです。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価実施内容

岩沼市教育重点目標に基づいて令和5年度に実施した主な事務事業の執行状況について、教育委員会において点検・評価を行いました。

その後、教育委員会が行った点検・評価（自己評価）について、学識経験者2名の方から御意見をいただき、あらためて各事務事業を検証しました。

御意見をいただいた学識経験者

鈴木 啓二郎 氏（元公立中学校長）

山内 紀子 氏（元公立小学校長）

II 教育委員会の会議等活動状況

○教育長・教育委員（令和5年度在籍）

職名	氏名	備考
教育長	百井 崇	(H25.10.1～R5.9.30)
教育長	及川 浩市	(R5.10.1～)
教育長職務代理者	佐藤 雅晴	(H29.10.1～) (委員 H4.10.9～)
委員	小林 修子	(H24.10.9～)
委員	南舘 公雄	(H26.11.1～)
委員	氏家 真由美	(R元.10.4～R5.10.3)
委員	木村 紀子	(R5.10.4～)

1 教育委員会の会議の開催状況

岩沼市教育委員会会議規則（昭和55年教育委員会規則第2号）第4条の規定により、定例会を毎月1回、臨時会を必要に応じて開催しています。令和5年度は、12回の会議を開催し、25件の議案を審議し、1件の事案を協議しました。

開催期日・会議	議案番号	内容
令和5年 4月13日(木) 定例会	第9号	学校医、学校歯科校医及び学校薬剤師の委嘱について
5月25日(木) 定例会	第10号	岩沼市障害児就学指導審議会委員の委嘱について
	第11号	岩沼市通学路等安全対策推進会議委員の委嘱について
	第12号	岩沼市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
	第13号	岩沼市いじめ問題対策推進委員の委嘱について
	第14号	岩沼市特別支援連携協議会委員の委嘱について
	第15号	岩沼市社会教育委員の委嘱について
	第16号	岩沼市文化財保護委員の委嘱について
	第17号	岩沼市青少年室運営協議会委員の委嘱について
	第18号	岩沼市青少年室青少年相談員の委嘱について
	第19号	岩沼市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
	第20号	岩沼市スポーツ推進委員の委嘱について
第21号	岩沼市民図書館運営協議会委員の委嘱について	

開催期日・会議	議案番号	内 容
6月22日(木) 定例会	第22号	岩沼市学校給食運営協議会委員の委嘱について
	第23号	第四次岩沼市子ども読書活動推進計画策定委員会委員の委嘱について
7月6日(木) 持ち回り審議	第24号	令和6年度使用教科用図書採択希望について
7月27日(木) 定例会	第25号	令和6年度使用教科用図書の採択について
8月24日(木) 定例会	第26号	岩沼市教育委員会点検・評価報告書（令和4年度実績）について
9月26日(火) 定例会		(報告事項のみ)
10月19日(木) 定例会		(報告事項のみ)
11月2日(水) 定例会	第27号	令和6年度岩沼市教育費予算（案）について
12月1日(金) 定例会		(報告事項のみ)
令和6年 1月25日(木) 定例会	第1号	岩沼市民体育センター条例を廃止する条例について
	第2号	岩沼市民体育センター管理規則を廃止する規則について
	協議	岩沼市教育基本方針及び令和6年度岩沼市教育目標について
2月8日(木) 定例会	第3号	岩沼市立学校施設の開放に関する規則の一部改正について
	第4号	岩沼市教育基本方針及び令和6年度岩沼市教育目標について
	第5号	県費教職員の任免等の内申について
3月7日(木) 定例会	第6号	市職員（管理職）の人事異動について

2 総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4の規定により、市長と教育委員会により、総合教育会議を開催しております。令和5年度は、1回の会議を開催し、1件の議題について話し合われました。

開催期日	協議事項
令和5年12月1日(金)	市民会館・中央公民館の今後の方向性について

Ⅲ 事務事業の実施状況・点検・評価

点検・評価の対象とした事務事業は、令和5年度岩沼市教育基本方針の3つの分野における目標として掲げた下記の18項目としました。それぞれの実施状況について記載し、基本方針ごとに点検・評価を行いました。

岩沼市教育基本方針

未来社会を展望し、広い視野と主体性をもち、命あるすべてのものと共に生きる心豊かな人間の形成と、明るく楽しい魅力あるまちづくりをめざし、学校・家庭・地域が一体となって、

「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」

「学びと潤いにみちた地域社会の実現」

「かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興」

を中心に、市民の生涯にわたる学習の充実に努める。

令和5年度岩沼市教育目標

「たくましさやさしさを培う学校づくりの推進」

- 1 夢やあこがれをはぐくむ学校づくり
- 2 豊かな人間性や社会性、健やかな心身の育成
- 3 障害のある子どもへのきめ細やかな教育の推進
- 4 魅力ある教育環境づくり

「学びと潤いにみちた地域社会の実現」

- 1 社会教育推進体制の整備
- 2 生涯にわたる学習機会の充実
- 3 家庭教育及び幼児教育支援の充実
- 4 青少年健全育成活動の推進と社会参加の促進
- 5 社会教育団体活動の推進と支援
- 6 社会教育施設の有効活用
- 7 読書活動の推進

「かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興」

- 1 芸術文化活動の推進
- 2 文化財の保護と活用の推進
- 3 スポーツ振興の充実
- 4 スポーツ団体活動の支援
- 5 部活動支援事業の充実
- 6 スポーツ施設の整備と活用の推進
- 7 市内開催の全国的、全県的大会の支援

たくましさやさしさを培う学校づくりの推進

1 夢やあこがれをはぐくむ学校づくり

(1) 学力向上の着実な推進

- ① 校内研究や教職員研修の充実
(教育指導支援事業)
 - 各種研修会・部会等への教育指導専門監出席回数(講話・助言の実施) 39回
 - 教育指導専門監の学校訪問回数(授業参観指導・校内研究支援等) 67回
- ② 個に応じたきめ細やかな指導の充実
(小中学校支援事業)
 - 学校指導助手19名 特別支援教育支援員13名 を配置
- ③ 学習習慣の確立と定着を図る取組の推進
(「家庭学習の手引き」「家庭教育のために」の作成・配付事業)(学力向上推進事業)
 - 「家庭学習の手引き」:全児童・生徒へPDFで配付
 - 「家庭教育のために」:新入生保護者へPDFで配付
 - 岩沼学び塾:放課後及び夏季・冬季休業期間に実施
- ④ 理科教育の充実
(只野文哉先生小中学校科学技術奨励事業)(副読本作成・配付事業)
 - 只野文哉記念科学技術奨励事業科学技術作品展:市民図書館にて開催(10月)
 - 岩沼スペーススクール(旧理科大好きフェスティバル):岩小にて開催(11月)
 - 副読本「わたしたちの岩沼」:小学3・4年生に配布
 - 副読本「岩沼の自然」デジタル版:岩沼理科学習ポータルサイトへ発展公開中
- ⑤ 全国学力・学習状況調査結果の分析・考察と改善方策の展開
 - 教務主任者会・研究主任者会で指示

(2) 夢やあこがれをはぐくむ教育活動の展開

- ① 学校の実態に応じた教育課程の編成と評価活動の推進
 - 教務主任者会・研究主任者会で指示
- ② 総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業の充実
(総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業)
 - 小中学校の創造的で特色ある教育活動を展開する事業に計7,804,200円の助成
プロポーザル事業:西小「防災・防犯緊急対応体制の充実」、岩中「名取支援学校と居住地校交流の充実」、玉中「オンライン交流学習の充実」
未来へはばたく学校づくり奨励事業
岩小・北中「校内のICT活用推進・発信のための機器整備」
夢あこがれ支援事業:玉小・南小「器楽演奏環境の充実」、玉中「吹奏楽部活動の充実」、岩中「ダンス研修会」、玉中「ストレッチ研修会」
北中・西中「剣道研修会」

③ ユニーク先生活用事業の充実

(ユニーク先生活用事業) (運動体力向上事業)

○各小中学校の特色を生かし、多様な講師を招聘した授業を展開

岩小「おはなしの会、車椅子バスケット体験、盲導犬キャラバン」

玉小「稲作から学ぼう、玉浦の未来を考えよう、金属ゴマ作り体験」

西小「読み聞かせ会、音楽、フルート・ピアノ演奏、跳び箱指導」

南小「金属ゴマ作り体験、体操教室」

岩中「いじめ防止講話、防災教室、異文化理解講話、ダンス指導」

玉中「いじめ予防教室、体力向上トレーニング」

北中「ネットトラブル防止教室、性的マイノリティ講演会、剣道指導」

西中「毛筆実技指導、剣道指導」

④ 適切な進路指導及び地域と連携した社会性・職業観をはぐくむ教育の推進

(ユニーク先生活用事業) (夢☆あこがれプロジェクト事業)

○多様な講師を招聘した授業を展開 (地元企業、福祉団体、農業体験等)

○劇団四季こころの劇場「ジョン万次郎の夢」公演 (全小学5, 6年生: 7月)

○ベガルタ仙台の公式試合観戦 (市内小学生と保護者: 10月)

○西村まさ彦氏 (俳優) による講演 (北中・3月)

○大久保剛志氏 (サッカー選手) による講演 (西中・12月)

(3) 伝統・文化の尊重と国際理解をはぐくむ教育の推進

① 環境教育・ふるさと教育の推進

(総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業) (生涯学習推進事業)

○小中学校へ計 7,804,200 円の助成 (再掲)

○給食で岩沼産りんごを使ったゼリーの提供 (11月: 令和3年度より実施)

○里山体験学習の開催 (岩小4年生、岩小・玉小・西小・南小1年生)

○ふるさとの味、はらこ飯を味わおう! の開催 (玉中3年生)

○二木の松俳句大会の開催 (小学5年生~中学2年生対象) 出展作品数 1,550 点

② 国際理解教育の推進

③ 外国語活動及び外国語教育の充実

(外国語指導助手招致事業)

○外国語指導助手 (ALT) 6名配置

○中学生イングリッシュ・キャンプ (7月)

○小学生イングリッシュ・キャンプ (10月)

○デジタル教材による個別最適な学び

(4) 教職員の資質・能力の向上

① 学校経営研修の充実

○教職員研修会 (全教職員対象) 2回開催 (4月、12月)

○小中学校校長会議及び教頭会議を毎月開催

- ② 若手教員の学びの場の提供
 - 志高研修会「いわキャン」 (8月)
 - 転入職員研修会 (12月)
 - 教育指導専門監による初任者層授業参観指導 18回
- ③ ICT等教育機器の研修の充実及び専門支援員の活用
 - いわすた(情報化推進リーダー)研修会【i-Teacher研修会】 4回開催
 - リーディングDX事業 GIGA担当者研修会 (7月)
- ④ 職能に応じた研修会の開催
 - 教務・研究主任者研修会 8回開催(教務4回、研究3回、合同1回)
 - 講師・指導助手研修会 4回開催(講師1回、指導2回、合同1回)
 - 特別支援教育コーディネーター研修会 2回開催

2 豊かな人間性や社会性、健やかな心身の育成

(1) 自他の命と人権を大切にし、思いやりやいたわりの心をはぐくむ道德教育の推進

(教育指導専門監派遣事業)

- 学校訪問において、道德の授業に対する指導助言
- 市教研において、講話及び模擬授業の実施(6月)

(2) いじめ防止対策の推進

- いじめ問題対策推進委員会 2回開催
- いじめ問題対策推進連絡協議会 2回開催

(3) 一人ひとりを大切にしたい生徒指導及び心のケアの充実

(小中学校支援事業)(子どもの心のケアハウス運営事業)

- スクールカウンセラーの配置(市内全小中学校)
- スクールソーシャルワーカーの配置(拠点校:岩中)
- いわぬま子どもの心のケアハウス「あいるーむ」の設置(令和元年7月～)
- 岩沼北中学校及び岩沼西中学校に学び支援教室「ほっとルーム」の設置
(北中:令和4年4月～、西中:令和3年4月～)

(4) 安全指導の充実及び防災教育の推進

- 学校危機管理委員会の開催 3回開催
- 岩沼市総合防災訓練の参加 (7月)
- 通学路等安全対策推進会議 2回開催

(5) 生活習慣の改善及び食育の推進

- いわぬま健幸運動を小中学校にて実施(6月・1月)

○いわぬま食育ウィークの実施（11月）

（6）体力・運動能力の向上と健康教育の推進

（運動体力向上事業）（スポーツ振興事業）（小中学校保健事業）

- 夢あこがれ支援事業及び運動体力向上事業として小中学校に助成
- 健康診断の実施
- 平日の運動部活動支援（派遣型・拠点型）
- 休日の部活動の段階的な地域移行の取組（陸上、バドミントン、卓球）
- 岩沼市学校保健会へ補助 450,000円

（7）相互理解を図る教育の推進（コミュニケーション能力の育成、協働で取り組む活動の充実）

- ICT機器を活用しつつ、話し合い活動の仕方を身につけ、自主的・自発的な態度や互いの考えを尊重し合うことを重視した活動実践
- 異学年交流、地域の方やALT、他学校交流等、様々な方々との交流活動
- 岩沼市プレゼンテーションコンクールの開催（9月）
※全国プレゼンテーションコンクール（公）パナソニック教育財団）にて最優秀賞、奨励賞受賞

3 障害のある子どもへのきめ細やかな教育の推進

（1）「共に学ぶ」特別支援教育の推進

（特別支援教育総合推進事業）

- 特別支援連携協議会 2回開催（7月・1月）
- コーディネーター等連絡会 2回開催（7月・12月）
- 特別支援教育研修会 1回開催（12月）

（2）指導助手及び特別支援教育支援員の配置の推進

（小中学校支援事業）

- 学校指導助手19名 特別支援教育支援員13名 を配置

（3）一人ひとりのニーズに応じた支援の充実

（個別の支援計画及び適切な就学指導）

- 個別の支援計画作成率 100%
- 障害児就学指導審議会 5回開催

（4）発達障害に関する知識と対応の充実

（コーディネーター等連絡会及び研修会）

- 社会福祉課と連携した研修会の開催（12月）

4 魅力ある教育環境づくり

(1) 教育施設整備計画に基づく安心して学べる学習環境整備の推進

(小中学校施設維持修繕事業) (小学校施設改修事業) (小中学校就学環境整備事業)

○施設維持修繕事業費 小学校 48,559,915 円 中学校 45,080,002 円

西中北校舎・南校舎照明 LED 化改修、岩小北校舎屋上防水修繕

北中高圧受電設備修繕、玉小職員室空調設備修繕 等

○小学校施設改修事業

西小校舎長寿命化改修工事設計

○校庭への車両侵入路調査実施及び車止め、バリケードの設置

○金属探知機を使った、校庭の埋没クギの調査及び撤去を実施

○就学援助費の支給

小学校 (合計) 19,293,669 円 中学校 (合計) 17,244,858 円

○特別支援教育就学奨励費の支給

小学校 (合計) 2,191,464 円 中学校 (合計) 1,356,570 円

(2) 児童生徒一人ひとりに対応できる ICT 教育環境整備の推進

(小中学校情報教育推進事業)

○教育委員会事務局職員による ICT 機器活用及び ICT 教育推進の学校へのサポート

○統合型校務支援システム本格稼働 (令和 4 年 4 月～)

○全普通教室にプロジェクター設置及び映写兼用黒板を整備

(中学校: 令和 3 年度、小学校: 令和 4 年度、追加分: 令和 5 年度)

○文部科学省のリーディング DX 事業の指定を受ける (岩小・北中)

○岩沼市プレゼンテーションコンクールの開催 (9 月)

○北中: JAET (日本教育工学協会) 学校情報化先進校表彰 (10 月)

「校務の情報化」

○全国 ICT 教育首長協議会 第 6 回日本 ICT 教育アワード 総務大臣賞受賞 (1 月)

「1 人 1 台端末の活用と働き方改革の推進」

○JAET (日本教育工学協会) から学校情報化先進地域として認定を受ける

(令和 6 年 4 月)

(3) 外国語指導助手 (ALT) 活用の充実をはじめとする英語教育環境整備の推進

(外国語指導助手招致事業)

○外国語指導助手 (ALT) 6 名配置

○中学生イングリッシュ・キャンプ (7 月)

○小学生イングリッシュ・キャンプ (10 月)

○デジタル教材による個別最適な学び

(4) 小・中学校指導助手、特別支援指導助手及び特別支援教育支援員配置の推進

(小中学校支援事業)

- 学校指導助手 19名配置
- 特別支援教育支援員 13名配置

(5) 教員が子どもと向き合う時間の確保（働き方改革）

- 在校時間調査
- ハイシーズンとオフシーズンを意識したメリハリのある部活動
- 学校事務共同実施の効率化

(6) 教育相談体制の充実（不登校やいじめ、その他の課題、災害時及びその後の社会環境変化に対する心のケアの充実）

(小中学校支援事業) (青少年室相談事業)

- スクールカウンセラー（全小中学校へ配置） 相談回数 2,846回
- スクールソーシャルワーカーを拠点校の岩中へ配置 相談回数 797回
- 翌年度就学児童を対象とした就学相談会の実施（8月）
- 青少年室・教育相談センターでの相談対応 相談件数 116件

(7) 学習支援ボランティアの活用と協働教育の推進

(宮城教育大学・仙台大学・東北福祉大学等との連携及び地域連携推進事業)

- 岩沼学び塾：放課後及び夏季・冬季休業期間に実施
- 中学校総合体育大会における支援

(8) 家庭・地域社会に開かれた信頼される学校づくりの推進

(地域連携推進事業)

- 各学校で学校評議員を委嘱
- ふれあいパトロール隊員 81名登録

(姉妹都市締結50周年記念高知県南国市訪問団との交流事業)

- 教育委員の南国市訪問 6月6日～8日
南国市立十市小学校、香南中学校へ訪問
副市長、南国市教育委員等と防災教育について意見交換
- 南国市から岩沼市へ訪問 8月20日～22日
(児童生徒23名、教員・教育委員会事務局職員14名 4年ぶりの実施)
玉小、玉中と防災学習等の交流活動、震災遺構山元町立中浜小学校等の見学
- 岩沼市から南国市へ訪問 10月16日～18日
(児童生徒10名、教員・教育委員会事務局職員10名)
南国市立十市小学校、香長中学校と防災学習等の交流活動、防災タワー等の見学

(友好都市山形県尾花沢市訪問団との交流事業)

- 尾花沢市と岩沼市の「小学生交流」の実施（8月1日 4年ぶりの開催）
交流活動、市内観光（航空大学校、(株)岩沼精工、岩沼ひつじ村）

(9) 不登校児童生徒に対する支援体制の充実(保護者と共に不登校児童生徒の学校復帰を目指すとともに社会的自立を支援)

(子どもの心のケアハウス運営事業) (児童生徒学校適応指導教室(けやき教室)事業)

- いわぬま子どもの心のケアハウス「あいるーむ」の設置
通所支援、学校訪問支援、教育相談の実施
- 岩沼北中学校及び岩沼西中学校に学び支援教室「ほっとルーム」の設置
別室登校生徒に対して専任教員を配置
- 仙南けやき教室(白石市)への通所委託

(10) 家庭における学校教育への理解促進

- タブレット端末の持ち帰り学習と端末を活用した家庭学習
- 部活動の地域移行について啓発活動

「たくましさややさしさを培う学校づくりの推進」に関する事業の点検・評価

新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行したことにより、4年ぶりに人が集まる活動が復活し、また、事業のオンライン開催等、コロナ禍において見出された新たな手法による事業展開により、学校教育のさらなる充実に取り組むことができた。

総合的な学習の時間・特色ある学校づくり推進事業やユニーク先生活用事業では、防災や福祉、地元企業、音楽等、様々な講師を招いた授業展開により学習内容の充実につながった。また、高知県南国市や山形県尾花沢市との交流事業を復活することができ、防災学習をはじめとする連携を図ることができた。

岩沼市「まなびiスクール構想」を推進するため、ICT機器を整備すると共に、各種研修会等により教職員のスキルアップを図り、児童生徒が日常的にICT機器を活用しながら学びを深める学習活動を展開してきた。それらの取組が評価され、文部科学省のリーディングDX事業の指定を受け、全国ICT教育首長協議会日本ICT教育アワードの総務大臣賞受賞、JAETから学校情報化先進地域として認定を受けるに至った。

不登校児童生徒等に対する支援体制として、北中と西中において学び支援教室「ほっとルーム」を継続し、いわぬま子どもの心のケアハウス「あいる一む」では学校に担当者を派遣する取組を充実させ、また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子ども福祉課等との連携強化により、児童生徒の多様な居場所づくりと心のケア・保護者への相談体制づくりに努めた。

さらに、学び塾を継続し、学校指導助手・特別支援教育支援員を配置することにより、個に応じたきめ細やかな学習支援の充実を図ると共に、教育指導専門監による教職員の授業力向上支援が児童生徒の基礎学力定着につながっている。

これらの事から「たくましさややさしさを培う学校づくりの推進」に係る取組は、着実に成果を上げており、事業は概ね順調であると判断した。

学びと潤いにみちた地域社会の実現

1 社会教育推進体制の整備

(生涯学習推進事業)

○社会教育委員会議の開催	2回開催(6月・1月)
○生涯学習振興事業助成金の交付	3団体 410,000円
○文化振興報奨金の交付	6件 100,000円

2 生涯にわたる学習機会の充実

(生涯学習推進事業)

○ジュニア・リーダー初級研修会の開催	11名参加
○コラボスクール(里山体験学習)の開催	6回開催
○電子顕微鏡体験教室(ミクロの世界をのぞいてみよう!)の開催	4日間実施 78名参加
○ふるさとの味、はらこ飯を味わおう!の開催(玉中3年生)	
○二木の松俳句大会の開催(小学5年生~中学2年生対象) 出展作品数 1,550点	
○「スタンウェイに触れてみよう」の開催	2日間実施

3 家庭教育及び幼児教育支援の充実

(生涯学習推進事業)

○東部のびやか教室の開催	14名参加
○西部のびやか教室の開催	59名参加
○南部のびやか教室の開催	37名参加
○北部のびやか教室の開催	27名参加
○子育て、親育ち講座	2回開催
○早寝早起き朝ご飯啓発活動	12回実施

4 青少年健全育成活動の推進と社会参加の促進

(青少年室相談事業)(生涯学習推進事業)

○相談件数	116件
○街頭巡回指導件数	30件
○小中高校生への声掛け件数	298件
○子ども110番の家の設置件数	224カ所
○少年の主張の開催	8名参加
○二十歳を祝う会の開催	369名参加
○青少年健全育成推進団体補助	
①岩沼市ジュニア・リーダー協議会	8,000円
②岩沼地区少年補導員協会	11,000円
③健やかな子どもを育てる岩沼市民会議	284,000円

- ④岩沼市子ども会育成連合会 7,000 円
- ⑤岩沼市父母教師会連合会 15,000 円

5 社会教育団体活動の推進と支援

(生涯学習推進事業)

○社会教育団体補助

- ① 婦人団体連絡協議会 81,000 円
- ② ガールスカウト 5,000 円
- ③ ボーイスカウト 5,000 円

6 社会教育施設の有効活用

○施設利用状況

	開館日数	利用件数	利用者数	1日平均利用者数
市民会館	346	830	51,941	150
中央公民館	346	1,056	12,287	36

○施設修繕

- ①市民会館・中央公民館 修繕費 6,363,940 円 (管理補修事業)
- ②市民図書館 修繕費 221,100 円

7 読書活動の推進

(図書館蔵書整備事業) (図書館運営事業)

- 利用登録者数：13,459 名 貸出者数：71,181 名 総貸出数：252,433 冊
- 入館者数：111,694 名 蔵書数：216,696 冊
- 市民図書館運営協議会 2回開催
- 読み聞かせボランティアステップアップ講座 72名参加
- 初心者向け読み聞かせ研修会 15名参加
- 第12回文化講演会 9名参加
- 手作り絵本教室 10名参加
- 夕ぐれおはなし会 4名参加
- 朗読のひととき 20名参加
- 本のミニリサイクル市 10日間にわたり開催
- 読み聞かせサークルによるおはなし会 (月1回～2回開催)

「学びと潤いにみちた地域社会の実現」に関する事業の点検・評価

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に引き下げられたことに伴い、行動制限が緩和され、必要な感染防止対策を講じながら、子どもたちが学びやすい環境の中で各種事業を実施することができた。

「放課後子ども教室（のびやか教室）」や「里山体験学習」では、学校と連携・協働して、より多くの地域住民の方々に子どもたちの成長を支える活動へ主体的に参加していただいたことによって実施することができた。

また、市家庭教育支援チーム「ほっぺの会」の活動を支援し、県教育委員会主催の研修会への参加や市内小学校において「子育て親育ち講座」を実施し、学校・家庭・地域の連携・協働による地域全体での家庭教育支援の活性化を図ることができた。今後も「早寝早起き朝ご飯啓発活動」など積極的な活動を計画し支援していく。

「岩沼に愛着を持つ人材育成事業」として実施している「ふるさとの味、はらこ飯を味わおう！」や「二木の松俳句大会」、「ミクロの世界をのぞいてみよう！」においても、多くの市内小中学生が参加し、興味深く取り組み、学習の充実を図ることができた。

青少年健全育成として、子ども会育成事業への支援やジュニア・リーダーの育成支援をはじめ、関係団体との連携しながら、地域コミュニティの振興・発展に努めた。

人口減少やコミュニティの衰退を受けて、住民参画による地域づくりがこれまで以上に求められる中、学校と地域が協働・連携することで、市民の学習環境の整備、学習機会を充実させる取組は、一定の成果をあげており、事業は概ね順調と判断した。

かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興

1 芸術文化活動の推進

(芸術文化振興事業) (生涯学習市民活動支援事業) (中央公民館学級・講座運営事業)
(中央公民館玉浦講座) (中央公民館西講座) (生涯学習推進事業)

(1) 芸術文化鑑賞機会の充実

○文化事業協会の主催事業の開催 12事業14公演 入場者数延べ6,152名

(2) 参加し、創造する地域文化活動の充実

○第34回市民文化芸術祭の開催 272名(団体30、個人9名)の参加
2日間で1,360名の来場者

○第43回いわぬま市民交流フェスティバルの開催 512名(団体50)の参加
2日間で1,865名の来場者

○中央公民館学級・講座の開催 7教室264名の参加

○中央公民館玉浦講座の開催 4教室103名の参加

○中央公民館西講座の開催 6教室123名の参加

○社会教育団体登録数 134団体

(3) 部活動支援事業の充実

○文化部活動支援：吹奏楽9種類の楽器の演奏指導(クラリネット、トランペット、
サクソ、フルート、ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、
パーカッション) 年間10回開催

○文化部活動支援：美術(イラスト)講座 令和6年3月 1回開催

2 文化財の保護と活用の推進

(文化財保護一般管理) (文化財発掘調査事業)

(1) 文化財の保護思想の普及と保護体制の整備

○文化財保護委員会 1回開催

○ふるさと展示室において文化財企画展の開催(第39回~第42回)

○出前授業 4回開催

○文化財めぐり 一関市博物館ほか 28名参加

(2) 文化財や歴史資料の調査と保存・活用

○岩沼市史活用事業講演会 1回開催

○市史を活用したパネル展 1回開催

(3) 民俗芸能の保護・育成

○指定文化財等補助 ①竹駒奴 9,000円

②早股熊野神楽 9,000円

(4) 開発等に伴う埋蔵文化財発掘調査の推進

○開発計画と埋蔵文化財の関わりについての協議書の提出件数 29件

(5) 原遺跡発掘調査の推進

- 原遺跡第8次発掘調査及び現地説明会
- 文化財講座「原遺跡とは何か～古代交通と岩沼～」の開催

3 スポーツ振興の充実

(スポーツ振興事業)

- 学校開放登録団体 ・登録団体数 58団体
- 夢あこがれ事業：ベガルタ仙台サッカー観戦
(令和5年10月28日開催 ユアテックスタジアム仙台)
・市内小中学生、教員、教育委員会職員 39名参加
- いわぬまスポーツフェスティバル(令和5年12月3日開催)
・253名参加

4 スポーツ団体活動の支援

(スポーツ振興事業)

- スポーツ団体補助 ①岩沼市体育協会 770,000円
②岩沼市スポーツ少年団本部 47,000円
- 国体出場者報償 6名 60,000円
- 全国障害者スポーツ大会出場者報償 3名 30,000円
- スポーツ振興報奨金 117件 2,200,000円

5 部活動支援事業の充実

(スポーツ振興事業)

- 運動部活動支援：拠点型8種目(バドミントン・陸上競技・卓球・ソフトテニス、バスケットボール、野球、バレーボール・サッカー)
前期(4月～9月) 88回、後期(10月～3月) 88回
- 運動部活動支援：派遣型4校5種目 岩中：バドミントン・卓球、西中：バドミントン・剣道、北中：バレーボール、剣道、玉中：バドミントン、野球
前期(4月～9月) 88回、後期(10月～3月) 88回
- 休日の部活動の段階的な地域移行の取組
 - ・啓発活動、説明会の実施
 - ・休日スポーツ教室の開催(10月～ 陸上、バドミントン、卓球)
 - ・部活動の地域移行に関する相談窓口と指導者登録窓口を設置(9月～)

6 スポーツ施設の整備と活用の推進

(スポーツ施設管理事業)(スポーツ振興事業)

- 岩沼市陸上競技場長寿命化改修設計
- 玉浦中学校屋外運動場照明設備撤去(令和5年11月完了)
- 岩沼市総合体育館男子・女子更衣室空調修繕(令和6年3月完了)
- 市長杯総合スポーツ大会の開催
- いわぬまスポーツフェスティバルの開催

○主な施設の利用者数の推移

	総合体育館	陸上競技場	多目的グラウンド
R3年度	19,860	27,651	12,578
R4年度	62,519	29,623	15,510
R5年度	87,535	30,099	22,387

※新型コロナウイルス感染防止対策により、R2年2月29日～R2年5月17日、R3年3月27日～R3年5月11日、R3年8月27日～9月12日を全施設閉鎖

※R3年2月13日に発生した福島県沖地震の影響により、地震発生以降、総合体育館のメインアリーナ及びサブアリーナをR4年6月30日まで閉鎖し、改修工事実施

7 市内開催の全国的、全県的大会の支援

(スポーツ施設管理事業)

○第35回全国高校生銃剣道大会（令和5年7月22日開催 総合体育館）

・職員が大会役員として参加し、大会運営の支援を行う。

「かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興」に関する事業の点検・評価

公民館においては、各種教室・講座を開催することができた。また、多様な社会教育団体に活動の場を提供するとともに、補助金交付等、生涯学習活動を積極的に推進した。

市民会館においても、各種イベントを予定どおり開催することができた。

文化部の部活動支援では、昨年度に引き続き吹奏楽と美術の支援を行った。今後も継続した支援を行っていきたい。

文化財保護・活用については、文化財の発掘調査を行い、特に原遺跡第8次調査においては新たに知見を得た。

市民の多様な文化・芸術活動への支援、及び市が残すべき文化や歴史に関する取組は、一定の成果をあげており、事業は概ね順調と判断した。

陸上競技場メインスタンドの長寿命化改修工事設計や、東日本大震災により被災し、老朽化の進んでいた玉浦中学校の屋外照明施設の撤去を行った。また、総合体育館男子・女子更衣室空調修繕など、市民が安全に安心して利用できるよう、各施設の修繕を行い、適切な維持管理に努めた。

第35回全国高校生銃剣道大会の開催に当たっては、関係各所と連携して計画的に大会運営の支援を行うことができた。

スポーツ振興の面では、指定管理者制度を活用した市内9つの体育施設の管理運営について、指定管理者による施設整備や市民に対するサービス向上が適切に行われており効果は大きいといえる。令和5年度から、市民の生涯スポーツ振興のため、指定管理者と協力していわぬまスポーツフェスティバルを開催し、多くの方々にご参加いただいた。業務委託をしている運動部の部活動支援においても、総合体育館を拠点として4中学校合同の指導を行ったり、指導者を各校へ派遣する等、継続的な活動を行うことができた。今後も指定管理者と連携して市内体育施設の管理・運営に努めていきたい。

令和5年10月から、休日における中学校の運動部活動の段階的な地域移行の取組を進めており、陸上、バドミントン、卓球の3種目について、中学生を対象に休日スポーツ教室を開催するとともに、相談や指導者登録の窓口を設置する等、体制整備を行った。

市民のスポーツ環境の整備、及び市民がスポーツに親しむ機会の提供に関する取組は、一定の成果をあげており、事業は概ね順調と判断した。

IV 学識経験者の意見

鈴木 啓二郎 氏(元公立中学校長)

岩沼市教育委員会が令和5年度に実施した主な事務事業の執行状況の「点検・評価報告書」(令和5年度実績)について所見を述べる。

1. たくましさややさしさを培う学校づくりの推進について

新型コロナウイルス感染症の5類移行の状況下において、従来の日常的な学校教育活動が常時行われるようになり、また、コロナ禍で取り入れられた様々な手法も織り交ぜられ、学校教育のさらなる充実・新たな展開が図られてきている。

総合的な学習の時間や特色ある教育活動を展開する事業・ユニーク先生活用事業では、防災教育・ICT 活用推進・音楽教育推進・地元企業や様々な社会教育活動団体の活用・著名人を招いての講演等、児童生徒の意欲的な学習活動が展開できたと思われる。岩沼の伝統・文化と国際理解をはぐくむ教育では、岩沼産リング・里山体験・はらこ飯・二木の松俳句大会等、また ALT の充実やイングリッシュ・キャンプの実施等、今後も大切に充実発展してほしい活動である。

ICT 等教育機器の導入充実と i-Teacher 研修会をはじめとする各種研修会を通して教職員のスキルアップと日常的な教育活動での ICT 活用充実が図られてきたことが文部省のリーディング DX 事業指定、全国 ICT 教育首長協議会 ICT アワードの総務大臣賞受賞、JAET からの学校情報化先進地域認定となったことは大変喜ばしいことである。

「あいるーむ」や「ほっとルーム」の増設や内容充実、SC や SSW などの教育相談体制は児童生徒の多様な居場所づくり・支援体制、保護者への相談・支援体制として重要である。従前から様々な体制を整備充実させているにもかかわらず、本市に限らず、全国的に不登校・不登校傾向の児童生徒数はなかなか改善方向に向かっているとは言えない現状は大変残念である。

2. 学びと潤いにみちた地域社会の実現について

新型コロナウイルス感染症の5類移行の状況下において、必要な感染防止対策を講じながら、生涯にわたる学習機会の充実と家庭教育支援の活動が展開されている。

のびやか教室や里山体験学習、電子顕微鏡体験教室などは、児童生徒にとって岩沼に愛着と誇りを持つことのできる原体験であり、地域の先達と学校との協働による活動として定着している。

青少年健全育成として、子ども110番の家設置、二十歳を祝う会、子供会育成事業支援、ジュニア・リーダー育成支援、図書館での読み聞かせボランティアステップアップ講座開催や初心者向け読み聞かせ研修会の開催など順調に進められている。

市民の学習環境・学習機会の整備充実を図る取り組みはおおむね順調である。

3. かおり高い芸術文化と活力のあるスポーツの振興について

新型コロナウイルス感染症の5類移行の状況下にあつて、文化・芸術活動への旺盛・多様なニーズを受け止め、各種教室・講座の開催、各施設の機能を活用した生涯学習活動が推進されていた。

文化財については、原遺跡第8次調査で新たな知見を得るなど一定の成果を出している。

中学校部活動支援事業、特に運動部活動支援として、拠点型 8 種目、派遣型 5 種目、休日スポーツ教室開催等、指導者の各校への派遣など、将来の中学校部活動の地域移行に向けた現実的な受け皿としてより一層の支援充実を図っていただきたい。指定管理制度を活用し、市民が安全に体育施設を利用できるよう市内体育施設の管理・運営に努めており、中学校部活動への上記のような新たな活動がさらに充実継続していくことを望む。

山内 紀子 氏(元公立小学校長)

岩沼市教育委員会が令和5年度に実施した主な事務事業の執行状況についての点検・評価結果について、所見を述べる。

1. たくましさとやさしさを培う学校づくりの推進について

自他ともに認める ICT 活用の先進地域として、常に時代の変化を見越した教育活動の在り方を模索し、そのための環境整備を積極的に行う姿勢が評価され、総務大臣賞受賞に至ったことにまず敬意と祝意を表したい。そして、一連の取組を推進するに当たって、市内全教職員を対象とした教職員研修会を開催し、市として進むべき方向性とその必要性について直接語ったことは、ビジョンの理解と共有において非常に意義深いものがあったと考える。また、継続的に取り組んでいる授業改善のための各種研修会の開催や指導主事・教育指導専門監による授業参観指導、そして個に応じた指導の充実のための学び塾の開催などは、子供たちの基礎学力の定着において、重要な役割を果たしていると思われる。特に、若手教員が増加傾向にある状況の中で、初任者層への指導・支援を充実させていくことは今後ますます求められるであろう。今後も各校と連携しながら授業づくりの充実につながる人材育成に取り組んでいっていただきたい。

悩みを抱える子供たちへの支援体制として、多様な居場所づくりや相談体制づくりに努めている。特に、「あいるーむ」において、通所支援だけでなく機関の方から学校に出向く訪問支援を充実させたことは、子供一人一人の状況に応じた支援として良い取組であると考えている。限られた人員・時間での対応に難しさもあると思うが、今後も各機関・職の持ち味を生かした役割分担で子供・保護者の支援に当たっていただきたい。

2. 学びと潤いにみちた地域社会の実現について

体験したことはより記憶に残ると言われている。それが生きて働く知識となり、生涯学習につながっていくと考える。また、その活動において地域の方々との触れ合いがあれば、社会性や共に生きる力の育成、豊かな価値観の形成なども期待できる。里山体験学習やのびやか教室をはじめ、教育目標の第二の柱で展開されている事業は、このような意味からも重要な素晴らしい取組であると考えている。さらに、親が学ぶ機会として「子育て親育ち講座」を実施している点も評価したい。生涯学習という観点からすれば、親が学べる機会がもっとあってもよいと考える。共働き世帯が増加している中で難しい面もあるだろうが、親子で学べる機会なども増えていくことを期待したい。市民図書館における読書活動推進の取組は多様な活動が展開されており、子供たちや地域の方々に読書の魅力を伝えることに貢献していると思われる。今後は、事業の周知等、広報活動に一層の工夫を図り、より多くの方々に参加するようになればなお良いと思う。

地域活動の充実は、人と人とのつながりを円滑にし、安心して暮らせる地域づくりにもつながっていくと考える。今後も魅力ある事業の展開を図っていただきたい。

3. かおり高い芸術文化と活力あふれるスポーツの振興について

各公民館における各種教室・講座は、身体を動かすもの、ものづくり、芸術関連等、内容が多岐にわたっている。選択の幅が広いことは、より多くの人の興味・関心を引きやすいという点でも良いことである。各教室・講座参加者数が延べ人数であるのかが明記されていると、さらに評価がしやすくなると思う。

原遺跡は、岩沼が誇れる重要な遺跡である。発掘調査が順調に行われるとともに、新たな知見が得られたことは、一層原遺跡の存在意義を高め、市民の郷土愛につながるものと思われる。

部活動支援事業においては、休日の部活動の段階的な地域移行への取組として休日スポーツ教室を開催したことが、口頭での説明を実感として捉えるよい機会になったと思う。とは言え、大きな転換期であるので今後も十分な説明を心掛け、理解と納得が得られるよう努めていく必要がある。

スポーツ施設の整備・管理については、玉浦中学校屋外運動場照明設備の撤去などのように、危険を予測して、事故が起きる前に対応に当たることが肝要である。市民が安心・安全にスポーツに取り組めるよう、今後も学校や指定管理者との連携を密にして、安全点検及び事後処置に細心の注意を払って取り組んでいっていただきたい。

岩沼市教育委員会点検・評価報告書（令和5年度実績）

令和6年8月発行

発行：岩沼市教育委員会

編集：岩沼市教育委員会 学校教育課

〒989-2480 岩沼市桜一丁目6番20号

電話 0223-23-0728 FAX 0223-24-0897

メール gakkou@city.iwanuma.miyagi.jp